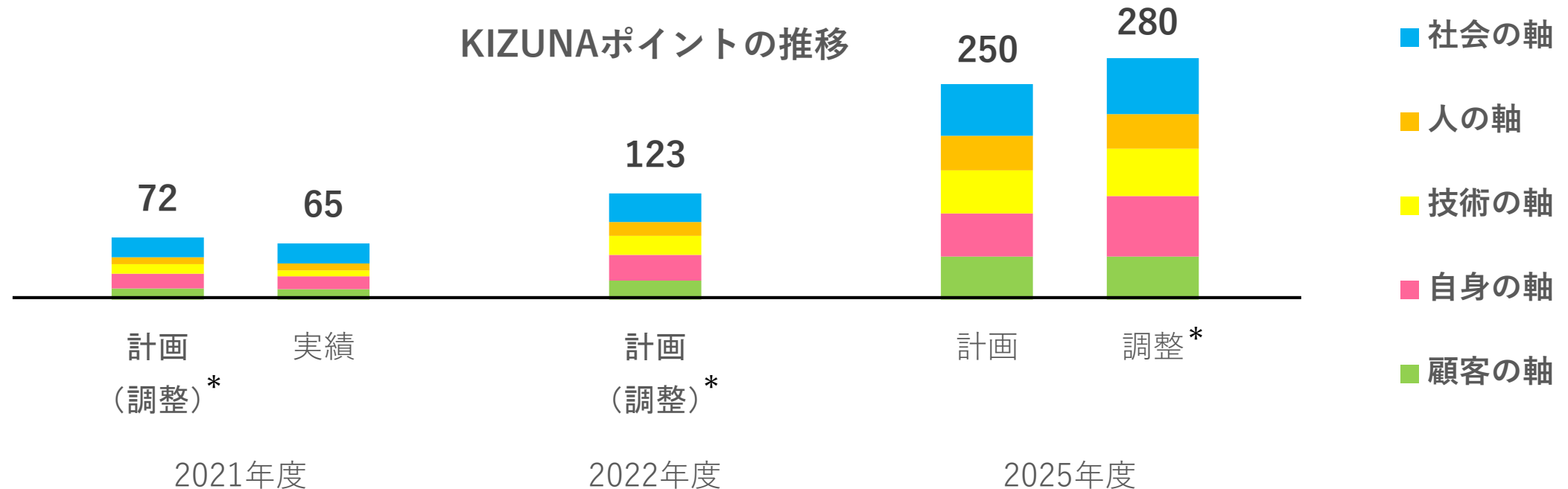


第5次中期5ヵ年経営実行計画 *V-ACTION for sustainability*

KIZUNA指標の進捗

荒川化学グループでは、2021年度からKIZUNA指標を導入し、サステナビリティに対する各種取り組みの進捗状況のモニタリング・評価をサステナビリティ委員会でおこなっています。KIZUNA指標は、当社グループにとって優先的な重要課題に対する指標の進捗度合いを分かりやすくした指標で、5つKIZUNAの軸に区分し、各指標の進捗を独自のポイント換算により定量的にモニタリングして管理しています。**2021年度の実績は、KIZUNA指標の目標72ポイントに対して達成率90%の65ポイントとなりました。**メンタルヘルス休業者の復職率や調達先監査件数は新型コロナウイルス感染症が蔓延する以前の水準より悪化傾向であり、NEXT事業の創出として「そだてる」ミッションへの移行に時間を要しておりますが、日本の化学業界初となるサステナビリティ・リンク・ボンド（SLB）を発行し、第5次中計のKIZUNA指標のうちサステナビリティ経営におけるリスクと機会に対する重要な指標として、CO₂排出量削減およびサステナビリティ製品の連結売上高指数向上の2つの指標を紐づけ、両指標の達成に向けて取り組みを推進しました。

引き続き、KIZUNA経営の実行とKIZUNA指標の達成に向けてさらに取り組みを強化してまいります。



*サステナビリティ・リンク・ボンドの発行に連動させた指標やプライム市場への移行にともなう追加指標もあり、KIZUNA指標のポイント配分を調整した

5つのKIZUNA	優先的な重要課題	K I Z U N A指標	2021年度実績			目標*8		ポイント	ポイント 合計
			内容	ポイント	実績/計画	2025年度	2030年度		
【社会の軸】 まもる	安全文化の醸成	災害・事故ゼロ継続（死亡・休業災害等）および 第三者機関による保安力評価、安全レベルの継続的向上	休業災害0件 保安力評価受審	12	23/23	災害・事故ゼロ継続（死亡・休業災害等） 安全レベルの継続的向上（評価4）		25	65
	環境保全の強化	C O ₂ 排出量の削減	2015年度比 32.5%削減	4		2015年度比 30%削減	2015年度比 50%削減	20	
		マツタロウの森の植林活動およびC O ₂ 吸収量評価実施	植林実施、 吸収量6トン/年以上	1		2026年度までに約1万本の植林を実施 C O ₂ 吸収量10トン/年以上		5	
	ガバナンスの強化	サステナビリティ委員会の設置と運用	設置と運用	5		持続可能な経営および企業価値向上に向けた取り組み実施 (KIZUNA指標の達成)		10	
		重大な不正やコンプライアンス違反発生ゼロを継続	0件	1		0件継続		5	
【人の軸】 関わりあう	事業のグローバル化 推進	海外駐在員の邦人指数*1	14%ダウン	2	8/8	2019年度比15%ダウン	2019年度比30%ダウン	10	40
		海外売上高伸長率	32.7%アップ	3		2019年度比50%アップ	2019年度比85%アップ	15	
		バイオマス度換算販売量指数*2	1.9%アップ	3		2019年度比7%アップ	2019年度比15%アップ	15	
【自身の軸】 主役になる	ダイバーシティ& インクルージョン推進	付加価値労働生産性*3	3.2%アップ	2	15/17	2019年度比25%アップ	2019年度比35%アップ	15	70
		従業員満足度調査（働きがいアンケート）	イキイキタイプ 55.7%	2		イキイキタイプ 50%以上	イキイキタイプ 60%以上	10	
		過去3年のメンタルヘルスによる休業者の復職率	52.4%	1		80%以上	100%	10	
		社会貢献活動の実施*4	実施	既存 1 新規 0		地域清掃や献血などの継続と新たな貢献活動の実施		5	
		男性育児休業取得率	16.0%	2		男性育休取得率30%以上	2025年度に再設定	10	
		女性管理職人数	2名増	2		2021～2025年で7名増	2025年度に再設定	10	
		働きがい改革							
		ミッションをSHIFTした数	4件	5		8件以上/5年	10件以上/5年	10	
【技術の軸】 技術の伝承と革新	NEXT事業の創出	「そだてる」ミッション移行テーマ件数	0件/1年	0	7/11	5件/5年	5件/5年、1事業化*7	20	55
	マーケティング力・ 研究開発力の強化	サステナビリティ製品の連結売上高指数*5	19%アップ	4		2019年度比25%以上アップ		20	
	生産体制再構築	モノ、ヒト、機器など各種施策の実施	多能工化の実施など	3		品種統合、OEM、IoTの導入など各種施策の実施		15	
【顧客の軸】 お客様と共に歩む	健全な財務基盤	営業利益率	4.1%	2	12/13	7%以上	10%以上	10	50
		ROE	2.6%	2		7%以上	8%以上	10	
	持続可能な調達と供給	持続可能な調達率（金額ベース）*6	67%	2		70%	70%以上維持	10	
		調達先監査件数	4件	1		50件	50件以上維持	10	
	品質マネジメントの強化	品質クレーム件数削減率	100%削減	5		2019年度比50%削減	発生率最小化に向けた 強化施策の推進	10	

*1 2019年度の海外関係会社あたりの平均邦人人数を100としたときの指数、*2 粘接着・バイオマス事業の主要製品のバイオマス度×販売量を当社基準に基づき指数化、*3当社基準の付加価値額を設定して算出、目標値は策定時点での見なしの労働時間、従業員人数を除いて算出。*4 新たな取り組みを実施した年度は5ポイント加算する。*5 従来の環境配慮型製品の売上高の対象範囲・基準を見直し、サステナビリティに貢献している製品として当社内で認定した製品の連結売上高で、2019年度を100として算出。
*6 非ロジン系原料（石油系原料）を対象とし原料背景を踏まえた当社基準で算出、*7 第5次中計中に「そだてる」ミッションへ変更し、売上高10億円以上または事業利益1億円以上を達成した新規事業、*8 目標値は見直す可能性がある。
※**青枠**は2021年12月23日に追加した指標、**赤枠**はサステナビリティ・リンク・ボンドの取り組み目標（SPTs：サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）を示す。